

2007年度第1四半期決算説明資料

2007年7月26日

川崎汽船株式会社

A. 2007年度第1四半期決算概要

A-1 決算概要

A-2 業績のポイント

A-3 部門別業績動向

B. 2007年度業績予想

B-1 上期・通期業績予想

B-2 事業別売上高経常利益予想

B-3 上期業績予想のポイント

B-4 上期部門別業績予想

C. “K” LINE Vision 2008⁺

C-1 経営指標の推移

C-2 船隊整備計画の進捗

C-3 コスト削減計画

A. 2007年第1四半期度決算概要

A-1. 決算概要



(単位:億円)

		2007年度 第1Q実績	2006年度 第1Q実績	増減額	増減率
売上高	連結	3,092	2,523	569	22.6%
	単体	2,501	1,979	522	26.4%
営業利益	連結	323	100	223	222.5%
	単体	229	10	218	2118.9%
経常利益	連結	361	101	260	257.7%
	単体	268	33	235	712.4%
当期純利益	連結	258	97	161	166.0%
	単体	196	22	173	775.1%
為替レート	平均	¥120	¥115	¥5	-
燃料油価格	平均	\$332	\$338	-\$6	-

(単位:億円)

事業部門		2007年度 第1Q実績	2006年度 第1Q実績	増減
コンテナ船	売上高	1,475	1,170	304
	経常損益	80	-34	114
その他海運	売上高	1,341	1,085	256
	経常損益	265	125	140
その他	売上高	276	315	▲ 39
	経常損益	15	9	6
合計	売上高	3,092	2,523	569
	経常損益	361	101	260

【 前年同期比 為替変動: 5円安 ⇒ +15億円、燃料油価格変動: \$6安 ⇒ +4億円 】

A-2. 業績のポイント

<前年同期比>増収(+569億円)・増益(+260億円)

増収・増益要因:

- 全部門における営業規模拡大
前年度竣工船47隻フル稼働
第1四半期 新造船8隻竣工
- コンテナ船欧州向け運賃の修復
- バルク市況の高騰
- 円安効果等

(06F 101億円 ⇒ 07F 361億円)

損益変動要因	対前年同期比
為替変動	15
バンカー変動	4
市況変動	146
営業規模拡大	93
コスト増減	▲ 18
その他	20
合計	260

A-3. 部門別業績動向

—コンテナ船—



<前年同期比> 売上1,475億円(305億円増収)・損益80億円(114億円増益)

増収・増益要因

- 営業規模拡大

東西航路の増強 (当社最大船型8,000TEU型の投入、
スエズ経由アジア・北米東岸航路開設等)
南北航路の拡充 (欧州・南米東岸、アジア・南米東岸航路の開設)

- 総積高(80.8万TEU): 堅調な荷動きにより前年比13.7%増
東西航路往航消席率9割超
- 運賃率 (前年同期比改善、見込みを上回る)

	北米	欧州	大西洋	アジア	南北
往航(西航)	-	+21%	▲6%	+6%	+15%
復航(東航)	+2%	▲15%	+8%	▲2%	▲4%

A-3. 部門別業績動向

—ドライバルク—



<前年同期比> 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大 新造船竣工(5隻)
稼動延^ト:45.7百万^ト⇒49.0百万^ト(前年同期比+7.1%)

増益要因

- 大型船市況:前年度末より続伸。6月に調整局面を迎えたが、足元も高値圏で推移
- 中型船市況:需要底堅く堅調。足元も強含みで推移。
- 小型船市況:セメント・鋼材輸送等の需要増により高値で推移

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2007年度 第1四半期	2006年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
ケープ(170型)	\$87,667	\$30,000	\$57,667	192.2%
パナマックス(74型)	\$43,917	\$18,450	\$25,467	138.0%
ハンディ(53型)	\$39,333	\$22,100	\$17,233	78.0%

A-3. 部門別業績動向

—自動車船—

<前年同期比> 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大 (昨年度竣工の8隻がフル稼働)
- 総積台数(含む欧州域内): 76.4万台⇒84.6万台(前年同期比+10.8%)
 - 日本・韓国車の需要、自動車メーカー海外生産による堅調な荷動き
 - 中南米・カリブ、中近東・アフリカ向け、三国間輸送が増加

増益要因:

- 輸送能力増強に伴う積高増加
- 荷動きに応じた各航路への最適配船の実施
- 需要の伸びが大きい中国・インド・中近東・南アフリカを結ぶ新サービスの開始

A-3. 部門別業績動向

—エネルギー資源輸送—

<前年同期比> 売上横這い・減益

- 液化ガス運搬船: 各プロジェクト合計31隻順調に稼働
- 油槽船: 新造VLCC竣工(1隻)、LPG(1隻)が第1四半期中に竣工
前年下期に竣工した4隻がフル稼働
稼働延トシ779.3万トシ⇒894.4万トシ(前年同期比+14.8%)

減益要因

- 油槽船市況の軟化

油槽船市況 (WS)	2007年度 第1四半期	2006年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
VLCC (中東/日本)	63	80	-17	-21.3%
Aframax (南方/日本)	153	130	23	17.7%
クーン7万トシ型 (中東/日本)	134	175	-41	-23.4%

A-3. 部門別業績動向

－その他事業部門－

(内航・フェリー)

<前年同期比> 増収・増益

- － 旺盛な需要と営業規模拡大
- － 燃料油コスト削減の減速運航サービス改編

(物流事業)

<前年同期比> 増収・増益

- － 海上貨物の堅調な荷動き
- － ケイラインロジスティクスの海陸空一貫輸送サービス体制

B. 2007年度業績予想

B-1. 上期・通期業績予想



(単位:億円)

		2007年度上期		公表比	2006年度	前期比
		直近予想	5月公表		上期実績	
売上高	連結	6,300	6,000	300	5,180	1,120
	単体	5,000	4,700	300	4,100	900
営業利益	連結	550	470	80	235	315
	単体	350	310	40	89	261
経常利益	連結	590	480	110	246	344
	単体	380	330	50	120	260
当期純利益	連結	430	320	110	206	224
	単体	260	200	60	102	158
配当	単体	¥11	¥10	¥1	¥9	¥2
為替レート	平均	¥120	¥115	¥5	¥115	¥5
燃料油価格	平均	\$351	\$340	\$11	\$337	\$14

(単位:億円)

2007年度	2006年度	前年比
通期予想	通期実績	
12,300	10,855	1,445
9,700	8,573	1,127
990	614	376
600	281	319
1,030	639	391
640	319	321
710	515	195
420	253	168
¥22	¥18	¥4
¥118	¥117	¥1
\$371	\$319	\$52

【2007年度年間配当22円、 連結配当性向20%】

【為替変動:1円増減⇒±12億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動⇒26億円】

B-2. 事業別売上高経常利益予想

(単位:億円)

事業部門		2007年度			2006年度			増減	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	通期
コンテナ船	売上高	2,900	2,900	5,800	2,439	2,595	5,035	461	765
	経常損益	30	▲ 35	▲ 5	▲ 32	▲ 47	▲ 78	62	73
その他海運	売上高	2,880	2,510	5,390	2,204	2,480	4,684	677	706
	経常損益	525	445	970	254	407	660	271	310
その他	売上高	520	590	1,110	537	599	1,136	▲ 17	▲ 26
	経常損益	35	30	65	24	33	57	11	8
合計	売上高	6,300	6,000	12,300	5,180	5,675	10,855	1,120	1,445
	経常損益	590	440	1,030	246	393	639	344	391

コンテナ船には代理店、ターミナル事業を含む

B-3. 上期業績予想のポイント

<前年同期比> 増収(1,120億円)・増益(344億円)

前提:燃料油価格\$337⇒\$351、為替¥115⇒¥120、市況改善、規模拡大

<公表比> 増収(300億円)・増益(110億円)

前提:燃料油価格\$340⇒\$351、為替¥115⇒¥120、市況改善

(06F上期 246億円、07F上期公表 480億円 ⇒ 07F上期見込 590億円)

(参考 06F 639億円⇒
07F見込 1030億円)

損益変動要因	対前年同期比	対公表比	対前期比
為替変動	31	33	12
バンカー変動	▲ 17	▲ 12	▲ 135
市況変動	339	162	431
営業規模拡大	155	57	282
コスト増減	▲ 36	▲ 2	▲ 76
会計基準変更他	▲ 128	▲ 128	▲ 123
合計	344	110	391

【為替変動:半期1円増減⇒±6億円、燃料油価格変動:半期\$10/MT変動⇒13億円】

B-4. 上期部門別業績予想



<コンテナ船>

上期 前年同期比:売上2,900億円(+443億円増収)・経常利益+30億円(+62億円増益)

夏場のピークシーズンに向かい荷動き堅調

東西航路は高消費率を見込む

積高 : 164万TEU (前年同期比 +12%超の増加を見込む、公表比+2%超)

運賃率 :		北米	欧州	大西洋	アジア	南北
(前年同期比)	往航(西航)	+2%	+26%	▲7%	+7%	+9%
	復航(東航)	+1%	▲16%	+8%	+1%	▲4%

会計基準の変更を予定(複合輸送進行基準)

売上高、営業利益、経常利益、税金等調整前利益にて140億円の減少を見込む

B-4. 上期部門別業績予想

<自動車船> 安定推移

荷動きは引き続き堅調に推移

荷動きに応じた最適船型投入による効率配船、営業規模拡大・サービス拡充

<ドライバルク> 業績改善

堅調な荷動きを背景とした市況の高値圏での推移

新造船の竣工による営業規模拡大（上期総計 9隻竣工）

バルク市況 (太平洋ラウンド)	直近市況	2Q見込	上期見込	期首公表 前提(上・下)
ケープ(170型)	\$87,000	\$85,000	\$86,333	\$60,000
パナマックス(74型)	\$51,500	\$45,000	\$44,458	\$30,000
ハンディ(53型)	\$41,000	\$40,000	\$39,667	\$27,000

<エネルギー資源輸送> 安定推移

LNG: 既存船隊31隻は引き続き安定的に稼働

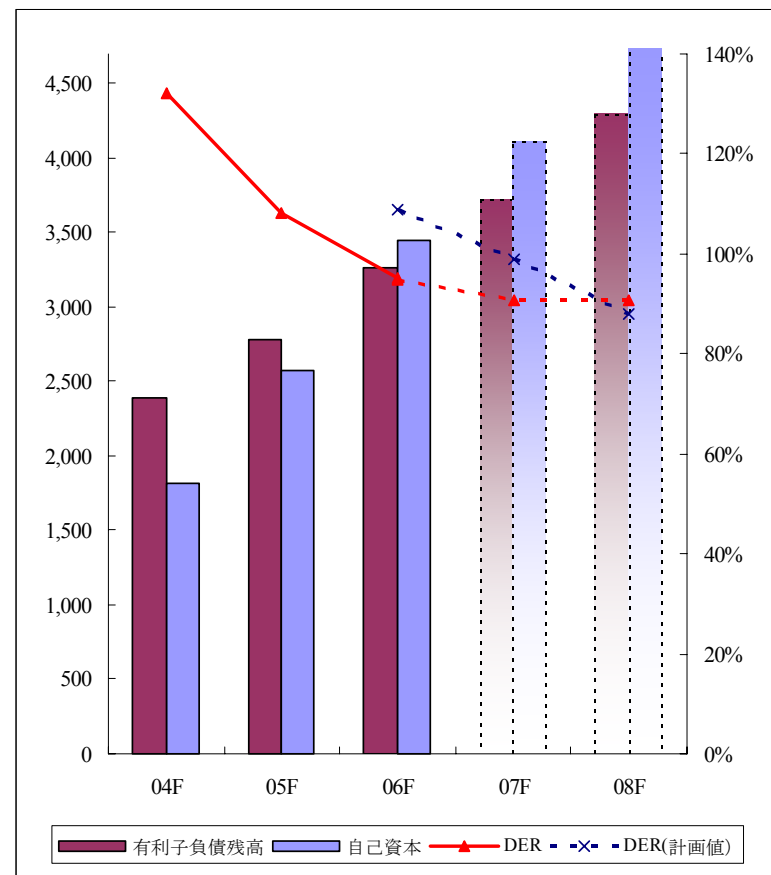
油槽船: 中国・米国・インド向け中心に荷動き堅調、ダブルハル・船質重視傾向にて需要期に向け市況堅調推移を見込む。新造船竣工による営業規模拡大（上期総計 3隻竣工）

油槽船市況	直近市況	2Q見込	上期見込	期首公表 前提(上・下)
VLCC(中東/日本)	WS 60	WS 75	WS 69	WS 70
アフラマックス(南方/日本)	WS 135	WS 140	WS 146	WS 140
クリーン7万ト(中東/日本)	WS 135	WS 150	WS 142	WS 150

C. “K” LINE Vision 2008⁺

C-1. 経営指標の推移

	2006年度 実績	2007年度 予想	2008年度 計画*
売上高	10,855億円	12,300億円	11,000億円
経常利益	639億円	1030億円	1,100億円
当期利益	515億円	710億円	700億円
営業CF	665億円	1200億円	—
(減価償却額)	(323億円)	(345億円)	—
投資CF	△1,029億円	△1,600億円	—
フリーCF	△366億円	△400億円	—
投資額	1,029億円	1,600億円	—
船舶関連	△1,870億円	△1,450億円	—
その他	△380億円	△470億円	—
資産処分	1221億円	320億円	—
自己資本	3,445億円	4,114億円	4,000億円
有利子負債残高	3,262億円	3,728億円	3,500億円
ROE	17%	19%	19%
ROA	8%	11%	11%
自己資本比率	38%	39%	39%
DER	0.95	0.91	0.88



C-2. 船隊整備計画の進捗

<船隊整備計画>

2007～2009年度竣工隻数

Vision 2008+において2008年度末
運航規模500隻体制を目指す。

2006年度は新造船47隻竣工

2007年度は新造船25隻竣工予定
(うち第1四半期に8隻竣工済)

	2007年度		2008年度		2009年度	
	竣工隻数		竣工隻数		竣工隻数	
コンテナ	3隻	(1隻)	6隻		15隻	
1700TEU	2		4		3	
2400TEU	0		1		2	
3500TEU	0		0		4	
4500TEU	0		0		1	
5500TEU	0		0		0	
6400TEU	0		0		2	
8000TEU	1	(1)	1		3	
バルカー	10隻	(5隻)	13隻		16隻	
Capesize	2		4		6	
Panamax	4	(2)			5	
Handymax	2	(1)	2		1	
SmallHandy	1	(1)	3		2	
Chip/Pulp	0		3			
Corona	1	(1)	1		2	
自動車	4隻	(0隻)	5隻		9隻	
2000台	0					
3800台	1				1	
4300台	0				2	
5000台	0				3	
6000台	3		5		3	
LNG	3隻	(0隻)	13隻		1隻	
油槽船	3隻	(2隻)	2隻		4隻	
VLCC	1	(1)			3	
AFRAMAX	0		1		1	
LR II	0					
LPG	2	(1)	1			
内航近海	2隻	(0隻)	2隻		0隻	
合計	25隻	8隻	41隻		45隻	

(注) カッコ内は2007年度第1四半期竣工済隻数

C-3. コスト削減計画

(単位:億円)

コストセーブ項目	2006年度	2007年度
運航費削減	86	52
機器費・空コンテナ費削減	14	10
船費・傭船料削減	6	13
販管費削減	2	6
合計	108	81
(部門別内訳)		
コンテナ船事業部門(含む海外)	100	60
他事業部門(含む海外)	8	21